



<VOL101 2016.5>

もりおかクラブ事務所：〒020-0804 盛岡市本町通3丁目1-1 Tel 019-623-1575 盛岡YMCA内
盛岡YMCA HP <http://www.ymcajapan.org/morioka/> 検索エンジンワード「盛岡YMCA」

「主題」

国際会長 Wichian Boonmapajorn
アジア地域会長 Edward K.W.Ong
東日本区理事 渡辺 隆
北東部長 中川 典幸
もりおかクラブ会長 大関 靖二

「信念のあるミッション」
「愛をもって奉仕しよう」
「原点に立って、未来へステップ」
「今と原点を融合して未来へ」
「明るく、楽しく、いきいきと、生かそう経験、感謝の心で」

今月の聖句 マタイによる福音書4章4節

「人はパンだけで生きるものではない。神の口から出る一つ一つの言葉で生きる。」

会長 大関 靖二
副会長 井上 修三
書記 濱塚 有史
会計 大関 靖二
担当主事 小川 嘉文
メネット 井上 優子

平成28年6月例会のご案内
日時 平成28年6月11日(第2土曜日) 18時30分
場所 きのえね 会費2,000円
卓話 調整中
第二例会 平成28年6月17日(第3金曜日) 18時30分
場所 そばDe10割

大関会長巻頭挨拶



大関会長

皆さん、こんにちは！ 5月の第一例会にて盛岡YMCAの武田悠さん(リーダー名ゴリナ)よりインドスタディキャンプに参加した時の活動状況を報告してもらいました。日本では当たり前前に暮らしている生活がインドの子供達には当たり前で無い生活がある。それでも子供達はたくましく生きてい

る。そんな事を気づかせてくれた事に感謝しているとの感想がありました。広い世界を見聞することにより自分たちも成長していく事でしょう。こんな機会を多くの人に経験して欲しいと思っています。

クラブ10周年記念例会の案内状を皆さんに確認してもらい5月中には発送します。多くの方が参加してくれることを期待しましょう。

熊本、大分の大震災が現在も余震が続いていること、皆さん心身共に休まることがないでしょう。早く収束することを皆さんでお祈りいたしましょう。募金につきまして、①地域災害への支援、

②熊本YMCAへの支援とありますので、クラブとしては、②熊本YMCAへの支援を優先したいと思います。皆さんご協力をお願いいたします。

6月4日～5日にかけて第19回東日本区大会が長野市にて開催されます。来月にはこの大会の様態をご報告したいと思っています。最後に、毎日の気温がその日によって著しく変化しています。体調管理には充分注意しましょう。

4月第一例会のご報告

平成28年5月14日、きのえね本店にて、第一例会を行いました。大関、山口、長岡、井上、井上優子、古澤、濱塚、小川(敬称を省略) ゲストは、武田 悠さん(ゴリナ)、安久津 里彩さん(あさり)、2名のゲストをお迎えしての例会になりました。

5月の例会は待ちに待ったゴリナのインド研修会の卓話になります。長くお付き合いをしてきたゴリナもいよいよ最終学年となり、来春には社会に飛び出す予定です。在学中の海外研修は今回で最後でしょうか。なにかさびしいような気がしますが、若者の前途は明るく輝いていなければなりません。残りのリーダーの活動もよろしく願いいたしますね。ゴリナの卓話には一同、いじり

やすかったのか、ゴリナの説明にいちいち反応して、20分で終わると申告していたのですが、なんと3倍の1時間に及びました。特に、濱塚さんが今までになく張り切っていました。濱塚さんの一面を再発見した次第です。古澤さんも大関さんも乗りに乗って1時間の卓話時間があつという間に過ぎ去ったのでした。枠にとられないもりおかクラブの面々、いいですね。このあと卓話は編集してありますのでお楽しみに。



ゴリナ～、ありがとね。素敵な卓話でした。

「ゴリナ、インドへ行く！」スタディキャンプの報告会

盛岡YMCAボランティアリーダー 武田 悠さん



武田 悠さん(ゴリナ)

3月2日～18日までインドスタディキャンプに行ってきました。主催は日本YMCA同盟、インド南部の4か所に宿泊、参加者は5名、団長は大川さん、三浦さん、古賀さん、森さん、そして私、ゴリナです。セントポニファスアンバハムという施設で、インドの方々と交流をして理解を深める、インド学生キリスト教運動との交流、マザーテレサの家などをめぐり、インドの現実を知る。このような目的でした。

バンガロールからお話しをします。SCMという施設に3日間滞在して交流しました。SCMはインドの学生YMCAを総括している組織です。



ご一行様、インド到着、そして最初からバリバリ全開

リートチルドレンが生活しています。この子供たちは非常に人なつこくてハグや握手で迎えてくれました。高校生になるまで生活して、社会に出ていきます。駅や繁華街で野宿や徘徊している子供を見つけて、YMCAのスタッフが救出する活動をしています。簡単には信頼関係が築けず、地道な努力を積み重ねているそうです。次がマザーテレサのランチです。ここは障害を持った男性の施設です。精神障害、身体障害、さまざまな人たちが生活しています。障害が軽い人たちが、重い人たちを介護しながらの共同生活を送っています。(写真を見る限り、栄養が足りているのか心配です。)日本ではいろんなタイプの障害者の共同生活は考えられません。行政からの支援もあるのですが、地域の方々の食料支援などで運営しています。

マイソールでは観光を楽しみました。気温は40度、湿度がない分過ごしやすいです。夏の間だけここで過ごす方が多いとききました。避暑地にはならないと思うのですが、ここから18時間かけて寝台列車でカニヤクマリに移動しました。宿泊は、セントポニファスアンバハムという施設です。この施設長のスレッシュさんは、今回の研修の受け入れ責任者です。親切で頼もしい、お世話になりました。ここは子供たちが暮らしている施設です。日本では孤児院のような所です。男女のすみわけが厳しくて柵でくぎられていました。ここで子供たちと全力で遊んだことが楽しかったです。コモリ岬にも行きました。インドの南の崎っぽで



す。夕日がきれいで印象に残りました。ほとんどの人たちはヒンドゥー教徒で海で沐浴をしています。ここには、カトリックの教会もあって行ってきました。毎年、キャンパーが訪れている所で、私たちは折り鶴を教えました。モンキー

マウンテンというヒンドゥー教の猿の神様がいらっしゃる聖地でした。ガイドの子が「コンジョウ」という言葉を連発していました。根性？、タミル語で「あと少し」の意味だったそうです。マルタンダムYMCAは地域に根ざしたYMCAで子供だ



モンキーマウンテン山頂

けではなく、大人も集っています。訪問したときは、ミシンを使って自分たちの服を縫製していました。ミシンは足踏みのミシンでした。庭にはココナッツを植えて、苗を地域の方々に配り、自給自足のための援助もしておりました。さらに蜂蜜の生産です。この蜂蜜は有名で、蜂の巣箱ごと貸し出して地域の方々が生産していました。お土産に買ってきましたが、添加物なしの蜂蜜は腐ってしまい食べられませんでした。マドゥライのガンジーミュージアムでガンジーについて学びました。ここにはガンジーの遺骨が納められている石碑があります。この石碑は日本の僧侶が建ててくれたそうです。この僧侶はサンカラムコーリンという所にいます。行ってきました。現在平和の塔を建立中でレンガ積です。私たちもレンガ積を手伝ってみました。果てしない作業のようです。いつ完成するのでしょうか。仏教の寺院に訪問したのは今回が初めてでした。さらにヒンドゥーの寺院にも行きました。おおきな像が迎えてくれてびっくりでした。最終日、チェンナイに移動して、お世話になったスレッシュさんに手持ちの雑貨をプレゼントしました。いわをくり抜いたり、岩を削った壁画、巨大石が鎮座している根元での記念写真などをみるといまでもドキドキします。町の中を牛が堂々と散歩している光景があります。今までは、自然に帰るもので生活をしていましたので町はよごれなかったのですが、現在人工のペットボトルなどが町にあふれだし、ごみの山があちこちにありました。食事は、大変おいしくいただいてきました。おなかをこわすこともなく、無事に帰国できました。皆様のご協力に大変感謝いたします、ありがとうございました。



おお、牛が町中を散歩

あります。今までは、自然に帰るもので生活をしていましたので町はよごれなかったのですが、現在人工のペットボトルなどが町にあふれだし、ごみの山があちこちにありました。食事は、大変おいしく

しくいただいてきました。おなかをこわすこともなく、無事に帰国できました。皆様のご協力に大変感謝いたします、ありがとうございました。

「フリテン盛岡DAON」

もりおかクラブの状況報告

5月の出席率	7/12	58 %	ゲスト 2 名	ビジター 0 名			
メーキャップ	0	名			5月切手	60 g	累計 340 g
5月のにこにこ	8,000	円	累計	熊本へ送金 円	5月プルタブ	130 g	累計 4,280 g
5月 石鹸	1,996	円	累計	7,179 円	りんご	円	累計 円
5月震災募金	0	円	累計	0 円	ファンド合計	22,655 円	

会費の納入をお願いいたします。岩手銀行 松園支店(店番号 082)普通口座 2145674

もりおかワイズメンズクラブ 会長兼会計 大関 靖二

5月のハッピーバースディ 5/27 長岡 五咲子メネット お誕生日おめでとうございます。

横浜つづきクラブ10周年記念例会に参加して。

大関靖二

5月21日(土)に横浜つづきクラブ10周年記念例会に、井上メン、濱塚メン、大関の3人で参加してきました。例会会場は富士山YMCAで行われましたが、東京ドーム9個分という広大なところでした。

メインテーマは東日本大震災あれから5年「今後の支援を考えるシンポジウム」という内容でした。九州地方の震災も発生している中で大変タイムリーなテーマでした。仙台YMCAの村井総主事と



盛岡YMCAの濱塚総主事がパネラーとなり、5年が過ぎた被災地の現状、今後の支援方法等々、問題点洗い出しながらの検討会でした。震災から5年も過ぎると風化されやすく、又、他地域での新たな震災が発生すると益々忘れられてくる傾向にある時に有意義な記念例会になったと思います。

シンポジウムの後はバーベキューパーティーとなり、楽しいひと時を過ごしてきました。盛岡クラブも今年9月に、10周年記念例会を開催するうえで大変参考になりました。当然ながら出席者の方々に

参加していただくようアピールしてまいりました。

2016年度 盛岡YMCA会員総会開催

5月28日、日本キリスト教団内丸教会会堂で開催。

事業報告で、学童保育が成長を続けているのが素晴らしい。学童保育は地域の子供たちになくてはならない事業です、当然他の団体も運営している事業です。仁王小学校では無料の公的保育があるにも関わらず、YMCAの学童保育に通ってくる子供が多いそうです。また、土淵学童では、農園を初めました。学童保育で農園を持っているのは全国で土淵だけだそうです。向中野教室は、小学校の敷地内に建物を持っており、小学校との連携がすごくうまくいっているとの報告です。特に、運動会では建物を開放して、おじいちゃん、おばあちゃん、小さな兄弟、授乳室まで完備して、たいへん喜ばれているとのこと。着実に盛岡の地で地域に根差してきました。濱塚総主事の努力もありますが、なんといっても3人のセンター長の頑張りがあります。彼ら3人は、学生ボランティアから盛岡YMCAのスタッフになった、たたき上げの3人です。最近の話で感動したのは農機具販売の「みちのくボタ」という会社に、飛び込みで農園の耕運機を援助してほしいとお願いして、企画運営に共感したみちのくボタ側が1台供与してくれたことです。浅沼君の度胸と行動力が



伊藤真太郎君(ひげたまご)



浅沼慧君(しどう)



小川嘉文君(さる)

あればなんでもできます。素晴らしい！こんな若者がうちの会社にも欲しいなと心より思います。

さらに、もう一人ご紹介しましょう。住友商事ユースチャレンジプログラムのインターンで学生ボランティアでもある、安久津里彩さんです。彼女の企画でお料理教室はただ楽しい教室から事業として十分成り立つ収支まで成長させました。一般の社会人でもなかなかできない事を彼女は盛岡YMCA内でやってのけたのです。



安久津里彩さん(あさり)

盛岡YMCAは素晴らしい人材の宝庫です。こんな盛岡YMCAを応援できることを心から誇りたいと思いました。

石巻広域ワイズメンズクラブ、チャーターナイト

5月28日石巻グランドホテルを会場に総勢110余名でお祝いをしました。西日本区からは10名の参加をいただき石巻市長様を始め地域の来賓の方のお話から被災をしたメンバーの地道な活動が実を結んだ事がこれからのクラブ活動に期待を持たせてくれました。そしてもちろん清水メンの努力に参加者一同異議なし^_^

井上優子



石巻広域ワイズメンズクラブ、チャーターナイトおめでとうございます。

出席できずに、大変失礼いたしました。共に歩みましょう。

緑の街に舞い降りて

「乾いた南風は、葉の間を吹き抜けるとみどり色に変わる。」イメージはこんな感じです。初夏の季節を迎え、一年で一番爽やかな時期を迎えております。

盛岡から東へ10Km。天保山という高原に行ってきました。眼下に広がるパノラマはまさにみどり色。かすみのさらに奥に見えるのは岩手山。毎日市内から見上げる岩手山とは違うような山に見えます。岩手山の右側には八幡平連峰、左側は奥羽山脈、連なる山々を従えて、さすがに「がんすけどん」は岩手の象徴でした。

この日の朝は、気温9℃。さすがに霜が降りる温度ではないの



朝日を受けて、がんすけどん。美しい姿です。

ですが、30℃の最高気温を体感したあとではさすがに寒い。朝の寒さや、日中の夏のような気温。でも湿度が30%では寒さ、暑さもこの時期ならではの、梅雨の前の爽やかな盛岡。この町が大好きです。

もいおかクラブブリティン「DAON」100号はどうした～

ブリティンの100号の発行、あんなに楽しみにしていたのに、今月のブリティンは100号のはずだったのに、なぜ101号なの？空に向かって叫びたい気持ち。「この大バカ者～」。間違いは今年2月に起こった。1月号のブリティンが97号、当然2月号は98号、ところが2月号も97号として発行してしまったのです。そのまま先月までカウントアップして4月で99号。しかしこの99号は実は100号だったのです。なにか記念特集を組もうかな、なんて思っていたのですが、しらけてしまいました。100号はないのです。この間違いに気づいてくれたのが井上優子さん。せめて今月号100号として発行してから、まぼろしの101号にしてほしかったかなあ～。でも100回もブリティンを書き続けたことができた

編集後記

ああ、100号。っていつまでこだわっているんだろう。もうあきらめなさい。さあ、もうすぐ東日本区大会です。毎年楽しみにしております。長野クラブのみなさん、行きますよ。小林ご夫妻に再開できることを心待ちにしております。そうそう、毎年買っているマーレードも今年も買わなくちゃね。長野市と盛岡市はなぜか似ているような気がするんです。気候も名産品もよく似ていますよね。とくにリンゴ。生産量日本一は青森、スピード出荷は長野、盛岡は3番目です。今は、摘果の季節でしょうか、え、もう終わったの。さすが長野は早い。松本も盛岡に似ていると感じましたが、やっぱり長野ですよ。

6月に入ると、いよいよ梅雨です。今年もどこかで水害が発生



つなぎ温泉からの岩手山



天保山から岩手山、秋田駒ヶ岳



のは皆様の協力があったこそ。クラブの皆様ありがとうございました。200号にむけてまだまだ書きます

するのでしょうか。それが心配です。今、地震災害と戦っている熊本も、何年かまえ大水害も発生しました。昨年の常総市は記憶に新しいです。皆様、災害には十分気配りをお忘れなく。最小限の被害で切り抜けていきましょう。

盛岡YMCAのすばらしさを自慢しましたが、どうでしたでしょうか？ 盛岡YMCAとお付き合いを初めてもう20年にもなるでしょうか。今現在の状況やこの気持ちは初めて出会ったころには考えられませんでした。人との繋がりがいいですね、ワイズメンズクラブに入ってから、友人がとてつもなく増えました。普段お付き合いしている友人よりはるかに友人の数は多いと思います。しかも、駆け引きなしの気軽な友人です。ちょっと長めの編集後記になりました、また来月お会いいたしましょう。長岡